

—韓国からのメッセージ—

尹美香（元韓国挺身隊問題対策協議会常任代表）

18回の寒い冬を街頭に立ち、また18回目の暑い夏を街頭で迎えられる日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワークのみなさん、日本軍「慰安婦」被害者たちの人権と名誉回復のために200回の訴えを続けた皆さんに感謝と尊敬のあいさつを送ります。

死を前にしても日本政府の謝罪と賠償を受けるために活動を諦めなかった金福童ハルモニの生き様に、みなさんが出会うことになりました。「私は希望を持って生きる」という金福童ハルモニの希望を、運動を通して直接見せてくださるみなさんの活動に、私も大きな勇気を持つことが出来ました。

歴史の真実を追求することで反逆者になり、被害者側に立って正義の実現を望み、献身する活動を「売国奴」だと攻撃する右翼勢力の暴力、その暴力をかばう公権力の前でどれほど辛く、恐ろしかったか、考えると涙が出ます。事情が許せば今すぐにでも駆けつけて手を握り感謝を伝えたいです。日本社会で受けたであろうもどかしさや心の傷に、慰労と愛を伝えたいです。

この3年間、私が無慈悲な攻撃を受けている間、遠くから、そばにいるかのように支援と応援、大きな力を送ってくださったことで、燃え尽きた心でも諦めないで希望と治癒の力を芽生えさせることが出来ました。再びみなさんと手を繋ぎ、ハルモニたちが望んでいた平和な世界を作るために力強く羽ばたきます。

日本軍「慰安婦」被害者たちと、日帝強制動員被害者たちの人権を犠牲にしてうち立てられた「韓米日三ヵ国同盟」の傘の下で暗躍する日本の軍事大国化、そして戦争の危機は、どの時代よりも平和に向かう私たちの声を必要としています。「再び私たちのような被害者をつくらないで」という日本軍「慰安婦」被害者たちの夢が壊れないよう、負けずに最後までともに闘いましょう！

キム・ソギョン（「金福童の希望」代表）

人権平和運動家「金福童」ハルモニの遺志を引き継ぐ「金福童の希望」より、関西ネットワークの200回水曜デモに感謝のあいさつをお送りします。

故金福童ハルモニと吉元玉ハルモニが関西地域で活動をするたびに手となり足となり、日本軍「慰安婦」問題解決のために一緒にして下さる関西ネットワークの定期水曜デモが200回を迎えることは意義深いです。これは歪曲された歴史を正す意志の時間であり、連帯の時間だと思います。

去る3月、尹錫悦大統領は、日帝植民地期強制動員被害者たちの賠償問題を韓国の企業が弁済する屈辱的な解決法を提示し、会談の席では岸田総理が2015年日韓「慰安婦」合意の履行を要求しました。

尹錫悦大統領は再び日本軍「慰安婦」問題を韓日関係の障害物として消し去ろうとしています。

しかし、真実を語り正義を叫ぶ関西ネットワークのみなさんの熱い連帯は、これを克服し、払いのけて必ず歴史を正しい方向に導いてくれるでしょう。

18年もの間、日本軍「慰安婦」問題解決を一緒にした関西ネットワークの活動をいつも支持し、ともにできて光栄であり、感謝を申し上げます。コロナ禍でお会いできませんが、必ず大阪を訪ねます。

熱い連帯で歴史の正義を～世界の平和を～ ありがとうございます!!

イ・ナヨン（日本軍性奴隷制問題解決のための正義記憶連帯理事長）

まず、2005年から始まった大阪水曜デモ200回を心よりお祝いします。

被害者らの勇気を継承し、韓国の運動と連帯しようと始まったこの水曜デモに多くの時間を積み上げて来られたみなさんに、心より感謝と尊敬のあいさつを送ります。

沈黙を破り、全世界の人権志向を変えた勇気ある被害者たちの声が広がって30余年が過ぎましたが、加害者の犯罪事実の否定と歴史歪曲、さらに被害者および活動家らに対する攻撃が続いています。韓日両政府は被害者の人権を踏みつけ、歴史的真相を無視して敵対と葛藤を煽り、東北アジアを戦争危機に追い込んでいます。それでも私たちは挫折することなく声を上げることを誓い、希望の火種が大きな花火になるよう、世界を変えるまでともにひるまず歩いて行きましょう。